

様式第1号

競争入札参加資格確認申請書

令和7年(2025年) 月 日

熊本市長 (宛)

住 所

商号又は名称

代表者職氏名

令和7年(2025年)6月11日付けで公告のありました令和7年度熊本城調査研究センター
収蔵遺物整理作業業務委託に係る入札に参加する資格について、その有無を確認されるよう、下
記の書類を添えて申請します。

記

- 1 競争入札参加資格審査調書(様式第2号)
- 2 入札参加者の同種業務の実績(様式第3号)
- 3 同種業務の実績を証する契約書の写し

競争入札参加資格審査調書

1 件名

令和7年度熊本城調査研究センター収蔵遺物整理作業業務委託

2 競争入札参加資格要件

次の(1)～(10)に掲げる条件をすべて満たしていることを誓約します。虚偽の事項があった場合は、いかなる措置を受けても異議ありません。なお、この書類を提出した以後に(1)から(10)に掲げる条件のいずれかを満たさなくなった場合は、速やかに届け出ます。

(1) 熊本市業務委託契約等に係る競争入札等参加資格審査申請書を提出し、熊本市業務委託契約等に係る競争入札参加者等の資格等に関する要綱（平成20年告示第731号）第5条に規定する参加資格者名簿に登録されている者であること。

さらに、業種として、第1分類「文化財調査」・第2分類「埋蔵文化財発掘調査」または「文化財修復業務」での登録をしていること。

(2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項各号の規定に該当しない者であること。

(3) 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定による更生手続の開始の申立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条の規定による再生手続の開始の申立てがなされた場合は、それぞれ更生計画の認可決定又は再生計画の認可決定がなされていること。

(4) 熊本市が締結する契約等からの暴力団等の排除措置要綱（平成18年告示第105号）第3条第1号の規定に該当しないこと。

(5) 熊本市から熊本市物品購入契約及び業務委託契約等に係る指名停止等の措置要綱（平成21年告示第199号）に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

(6) 消費税及び地方消費税並びに本市市税の滞納がないこと。

(7) 業として本件競争入札に付する契約に係る業務を営んでいること。

(8) 過去3年の間、本市との契約において、違反又は不誠実な行為を行った者であって契約の相手方として不適当と市長が認めるものでないこと。

(9) 熊本市内に本店または支店・営業所を有する者であること。

(10) 国又は地方公共団体から直接受注した業務として、令和3年度（2021年度）以降に履行が完了した、遺物の二次整理作業業務委託の実績を有すること。

令和7年（2025年） 月 日

申請者

住所

商号又は名称

代表者職氏名

印

【連絡担当部署】

部署名		担当者名	
電話番号		FAX	
電子メール			

(様式第3号)

入札参加者の同種業務の実績

商号又は名称 _____

番号	発注機関名	契約期間	業務名・業務概要	契約金額
1		~	【業務名】	
			【業務概要（規模・内容や技術的特徴について）】	
2		~	【業務名】	
			【業務概要（規模・内容や技術的特徴について）】	
3		~	【業務名】	
			【業務概要（規模・内容や技術的特徴について）】	

(注1) 国又は地方公共団体から直接受注した業務として、令和3年度以降に履行が完了した、遺物の二次整理作業に関する業務委託（申請書等提出日までに履行が完了したものに限る。）について代表的なものを3件まで記載し（1件で足りる。）、契約書の写しを添付すること（必須）。なお、これだけでは同種業務の実績を有することが判断できない場合は、他の判断できる資料（図面、仕様書等の設計図書又は発注者の証明等）で併せて補完すること。

添付されていない場合、提出された書類では同種業務の実績を有することが判断できない場合は、その実績を有しているとは認めない。

(注2) 発注機関名は具体的に記入すること（例：〇〇県〇〇市）。なお、国等の出先機関の場合はその出先機関等の名称等を記入のこと。